

## 第二次恵庭市教育大綱について

### <教育大綱の位置付け>

教育大綱は、改正地方教育行政法に基づき、本市の教育の推進に関する基本的な考え方を示すものです。

平成28年4月27日に開催された恵庭市総合教育会議において協議し、策定しました。

### <教育大綱の期間>

この大綱の期間は、平成28年度から平成32年度までの5年間とします。

	28	29	30	31	32	…	37
第二次恵庭市教育大綱	→						
第5期恵庭市総合計画	→						

### <目標の体系>

#### 【基本目標】

人が育ち文化育むまちづくり

- 【目標1】 心豊かな思いやりをもった子どもの育成を図ります
- 【目標2】 子どもの自立成長を促す学校教育を目指します
- 【目標3】 手を取り合い創造性を育む文化芸術を築いていきます
- 【目標4】 夢と健康を育むまちづくりを進めます

### <重点施策>

- ふるさとに生き 夢と志をいただき、心豊かに たくましく伸びる子どもの育成をめざします
  - ① ふるさとに学び、ふるさとに生きる子どもの育成をめざします
  - ② 夢と志をいただき、自ら進んで学ぶ子どもの育成をめざします
  - ③ 優しい心を持ち、共に生きる子どもの育成をめざします
  - ④ たくましい心と体で、生き生きと活動する子どもの育成をめざします
- 次世代につなぐ「人づくり」「地域（まち）づくり」をすすめます
  - ① 地域コミュニティ活動の推進に努めます
  - ② ふるさと教育の推進に努めます
  - ③ 読書活動の推進に努めます
  - ④ 文化芸術活動の推進に努めます
  - ⑤ スポーツ・健康づくりの推進に努めます



## 災害時応援協定の締結について

### 1. 災害に係る情報発信等に関する協定

【協定締結日】 平成28年4月1日（金）

【協定先】 ヤフー株式会社

【概要】 ・恵庭市とヤフー株式会社が互いに協力し、災害時に市民に対して必要な情報を迅速に提供する。

#### 【協定内容】

- (1) 災害時における市ホームページへのアクセス負荷軽減等を目的として、市ホームページのキャッシュサイト（注1）をヤフーサービス上に掲載し、アクセスの分散を図る。
- (2) 避難所等の防災情報を平常時からヤフーサービス上に掲載し、広く周知する。
- (3) 避難勧告、避難指示等の緊急情報をヤフーサービス上に掲載し、広く周知する。
- (4) 災害発生時の被害状況、ライフラインに関する情報、避難所におけるボランティア受け入れ情報をヤフーサービス上に掲載し、広く周知する。
- (5) 避難所等における救援物資に関する情報をヤフーサービス上に掲載し、広く周知する。具体的な内容や方法は、ヤフー株式会社との協議により検討を進める。

（注1） キャッシュサイトとは、アクセス集中によりホームページを閲覧しづらい状況が発生した際に、アクセス負荷軽減等を目的として提供される別のホームページのこと。

## 2. 減災を目的とした防災 AR に関する協定

【協定締結日】 平成28年4月1日（金）

【協 定 先】 一般社団法人 全国防災共助協会

【概 要】 ・同法人が提供するスマートフォン向け防災ARアプリ「みたチョ」を活用し、市内の避難所等の位置情報が確認できる。

### 【主な機能】

- (1) AR（注1）技術を用いた避難所等への誘導及び平時からの周辺避難所等の確認
- (2) 気象庁の災害情報の確認
- (3) 市からの避難情報等の掲載

（注1）AR（Augmented Reality；拡張現実）とは、人間の目から見えるもの（現実世界）に対し、コンピューターで情報を付加すること。本アプリは、カメラを通じた実際の風景に避難場所までの距離と方角を示して誘導する機能を持っています。

### 災害時の機能① 最寄りの避難場所への避難誘導

#### 「みたチョ」の他の避難誘導アプリとの違い

##### 1. 全国の避難場所を全て登録

市民の皆様が地元で避難誘導できることはもちろんですが、避難先・通学先・旅行先・お買い物先など未知な土地で被災した場合でも、迷わず避難場所まで誘導し、市民の皆様をお守りすることができます。  
また、遠く県外などから来られた方たちに対し、安心して滞在いただくために、ダウンロードを簡単することが可能です。  
（※現在、外国人の登録も可能にするため、多言語化の開発を進めております。）

##### 2. 回線途絶状態でも利用可能

東日本大震災のような大規模震災においては、インターネット回線が完全に途絶してしまう可能性があります。あるいは、途絶してはいたとしても、市民の皆様が一言にご挨拶に連絡を取られるなどすると、サーバーがダウンします。「みたチョ」は、避難所情報をアプリにあらかじめ記録しているため、回線を一切必要としません。また、現在地はGPSで検出するため、災害の影響を受けることはありません。



- ① 「ホーム画面」から「防災」をタップします。
- ② ノートルダム学院小学校が300m先にあります。指印の方向にスマートフォンを振ります。
- ③ 指印が▲印に、また上部に避難所アイコンが出た方向に進みます。
- ④ 最寄りのノートルダム学院小学校に到着しました。

「みたチョ」は、災害時を想定し、いわゆるカーナビのような誘導システムは、あえて搭載しておりません。

いわゆるカーナビに代わるようなナビゲーションシステムは、「OOを右折」などの指示を横かにしています。視覚としての見栄えはともいいますが、「みたチョ」の場合、災害時の利用を想定したアプリのため、建物の破壊や道路状況など、『本来通ったところが通てなくなっている』可能性が十分にあり、災害時、パニックになっている状態の皆様に対し、直がれないところを直がれと指示するのは、よりパニックを引き起こす原因になりかねません。したがって、「みたチョ」では距離と方向の2つの情報だけを提示し、そこに向かうにあたって、どの道を選択するかは、現場の判断に任せるとしております。

【参照：一般社団法人 全国防災共助協会】

## 平成27年度災害対策本部訓練検証報告について (概要版)

### 1. 検証目的

市では初めての暴風雪災害を対象とした実践的な訓練の実施を通して、各対策部の対策活動や体制に係る課題等を抽出し、検証することにより、今後の市の災害対策を明らかにし、本市災害対策活動や体制を見直し、災害対処能力を向上させることを目的とする。

### 2. 検証対象

- 被害状況の把握・整理方法について
- 災害対策活動の決定方法について
- 各対策部（班）の連携、情報共有について

### 3. 検証方法

- 訓練評価班の評価
- 訓練参加者の評価
- コントローラー部長の評価・検証 ※総務部危機管理参与
- 北海道防災訓練支援班の評価・検証 ※北海道危機対策課危機対策専門官

### 4. 検証を踏まえた今後の災害対策への反映事項

訓練項目	平成28年度重点事項
訓練方式	○ロールプレイング方式による訓練とし、職員説明会を開催し周知する。
訓練内容	○職員説明会で様式や訓練内容の徹底を行う。
想定災害	○「浸水害（洪水）」対策訓練と併せて職員非常招集訓練を実施する。
配置（スタッフーム）	○参加職員数を調整し、見やすい場所に図面やメインの情報ボードを配置する。
災害活動の意思決定	○情報の収集・伝達・共有のフローを作成し、職員周知を行う。
図面の活用	○図面の記載方法やタイミングのフローを作成し、職員周知を行う。
資機材・備品	○UTMグリット線入りの図面（縮尺1/25,000程度）を整備する。 ○災害対策本部長の机に筆記用具やメモ帳を配備する。
情報収集・伝達・共有	○地域防災計画を修正し、「災害対策本部内の情報連絡系統図（被害状況報告）」に総務対策部本部班に対する報告を記載する。 ○情報の収集・伝達・共有のフローを作成し、職員説明を行う。
協定先への報告	○地域防災計画や対策部マニュアルの徹底について周知する。
様式	○業務処理票と口頭受理の使用区分について職員説明会で徹底する。 ○業務処理票に整理番号を付記するよう、職員周知する。
その他	○「個人業務カード」の携帯について、班長会議で周知する。 ○避難勧告等の判断・伝達マニュアルを作成する。





# 平成27年度 恵庭市災害対策本部訓練 検証報告書



平成28年6月  
恵庭市

# 平成 27 年度 災害対策本部訓練の検証報告

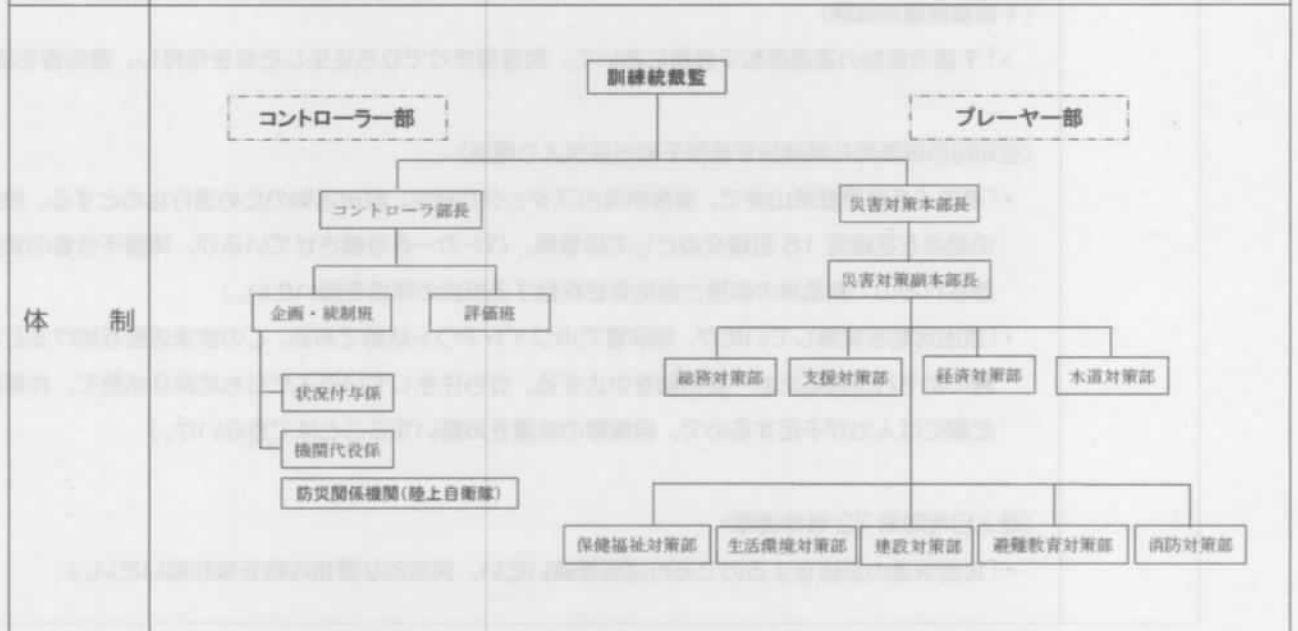
## 1 訓練概要

訓練実施日	平成 28 年 2 月 16 日 (火) 午前 8 時 45 分～12 時 00 分			
参加人数	プレーヤー部	コントローラー部	関係機関	評価班
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部長 (市長) 1 名</li> <li>・副本部長 (副市長、教育長) 2 名</li> <li>・総務対策部 15 名</li> <li>・支援対策部 5 名</li> <li>・経済対策部 7 名</li> <li>・保健福祉対策部 7 名</li> <li>・生活環境対策部 6 名</li> <li>・水道対策部 7 名</li> <li>・建設対策部 7 名</li> <li>・避難教育対策部 8 名</li> <li>・消防本部対策部 5 名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コントローラー部長 1 名</li> <li>・ // 補佐 1 名</li> <li>・北海道危機対策課 3 名</li> <li>・北海道隊友会連合会 5 名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上自衛隊 第 72 戦車連隊 4 名</li> </ul>	10 名
	計 70 名	計 10 名	計 4 名	計 10 名
	合計 94 名			
場 所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 1・第 2・第 3 委員会室 (オペレーションルーム、スタッフルーム)</li> <li>・301・302 会議室 (コントローラー室及び現地状況付与室)</li> </ul>			
想定災害	暴風雪災害			
訓練目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策本部員の災害対処能力の向上</li> <li>・患庭市地域防災計画の検証による防災対応力の向上</li> </ul>			
	重点項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暴風雪災害における災害対策本部の運営</li> <li>・被害状況の把握・整理及び対策案の決定</li> <li>・各対策における各対策部 (班) 間の連携</li> <li>・防災関係機関との連絡調整</li> </ul>		
訓練方式	<p>ロールプレイング方式 (シナリオ非提示)</p> <p>① 提出 ② コントローラー部長の指示受け ③ 指示に基づき、代表が現地状況付与室へ移動 ④ 状況付与受け</p>			



訓練想定	2月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・21:30 石狩南部に暴風雪警報発令（災害警戒本部を設置）</li> <li>・23:00 頃から雪が降り始める。</li> </ul>
	2月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・04:00 頃から猛吹雪状態</li> <li>・08:30 NEXCO 道央自動車道で多重衝突事故  <ul style="list-style-type: none"> <li>〈発生場所〉千歳市内</li> <li>〈負傷者〉あり</li> <li>〈通行止め〉恵庭IC～千歳IC 通行止め</li> </ul> </li> <li>・08:35 市民から市災害警戒本部に電話  <ul style="list-style-type: none"> <li>〈連絡内容〉・道道島松千歳線を千歳に向かって車で移動中に立ち往生した。</li> <li>・位置は不明。</li> <li>・警察には連絡した。運転に注意するよう市民に周知すべき。</li> </ul> </li> <li>・08:40 災害対策本部設置（本部長指示）</li> <li>・08:45 第1回災害対策本部会議（09:30 開催）の連絡</li> <li>・09:00 各災害対策部は災害対策本部で情報収集し、当面必要とする処置を実施。  <ul style="list-style-type: none"> <li>〈気象状況〉・暴風雪により市内全域において視界不良</li> <li>・最大瞬間風速は 25m/s （04:50 気象台情報）</li> <li>・降雪量は降り始めから約 35cm（08:30 気象台情報）</li> </ul> </li> <li>〈小中学校〉全校臨時休校（教育委員会が判断、連絡済み）</li> </ul>

日程	2月16日(火)	
	09:00	13:00～
全般	訓練準備	災害対策本部訓練 (暴風雪災害対処図上訓練)
コントローラー部	部計画による訓練準備	状況付与及びプレイヤーへの対応
プレイヤー部	部計画による訓練準備	プレイヤーの評価・判定
		状況に応ずる災害対策本部活動
		撤収
		昼食
		部計画による撤収
		部計画による撤収



状況付与  
の概要

〈市民からの電話〉

- ・「雪で玄関が開かなくて家の外に出られない。近所付き合いはなく、近くに頼れる人もいない。」
- ・「家の前の道路が除雪されていない。どうなっている。」
- ・「車が埋まって動けない。助けてほしい。119番に電話したが繋がらない。」
- ・「息子が夜勤明けにもかかわらず、帰宅していない。安否確認をしてもらえないか。」
- ・「こまば公園横の道路に大きな木が倒れていて車が通れない。」
- ・「ヘランダに看板が飛び込んできて窓ガラスが割れた。どうしたら良いか。」
- ・「家の屋根が剥がれた。今すぐに母と猫を連れて避難したい。一番近い避難所はどこか。」

〈ボランティア団体からの問い合わせ〉

- ・「ボランティアとしてお手伝いしたいが、窓口や手続きはどうなっているのか。」

〈ドライバーからの通報〉

- ・「道の駅花ロード恵庭の駐車場に避難している。燃料が残り少ない。」
- ・「道道江別恵庭線の島松川橋付近の路上に荷物が散乱している。」
- ・「国道36号線の島松沢に吹き溜まりが出来ていて車が通れない。」
- ・「西6線南12号の交差点角で水が噴出している。車がスリップし、交差点に突っこんでしまった。」

〈報道機関より電話〉

- ・「市内の被害状況を知りたい。」
- ・「市の対応状況、現在の体制、処置したこと、市民への広報について聞きたい。」

〈石狩振興局地域政策課より電話〉

- ・「恵庭市内の被害状況、市の対応状況と今後の予定を伺いたい。」

〈JR北海道 恵庭駅長より電話〉

- ・「09:00 から千歳～札幌間の列車運行を休止。現在、開通見通しはついていない。」

〈千歳警察署地域課〉

- ・「千歳市釜加の道道島松千歳線において、吹き溜まりで立ち往生した車を発見し、運転者を救出。」

〈空知総合振興局札幌建設管理部千歳出張所より電話〉

- ・「道道45号恵庭栗山線で、複数車両のスタックが発生。救出活動のため通行止めとする。救出活動の拠点を基線南16号線交点として除雪車、バトカーを待機させているが、体調不良者の発生も予想されるので救急車の応援と救助者を収容する施設の準備を願いたい。」
- ・「救出活動を実施していたが、地吹雪でホワイトアウト状態である。このまま活動を続けると2次災害のおそれがあるため一旦活動を中止する。立ち往生している人たちも危険な状態で、作業再開した際には人力が不足するので、自衛隊の派遣をお願いすることはできないか。」

〈陸上自衛隊第72戦車連隊〉

- ・「災害派遣の要請をするのであれば調整願いたい。具体的な要請内容を検討願いたい。」

### 3 検証目的

本訓練の検証は、市では初めての暴風雪災害を対象とした実践的な訓練の実施を通して、各対策部の対策活動や体制に係る課題等を抽出し、検証することにより、今後の市の災害対策を明らかにし、本市災害対策活動や体制を見直し、災害対処能力を向上させることを目的とする。

### 4 検証対象

- 被害状況の把握・整理方法について
- 災害対策活動の決定方法について
- 各対策部（班）の連携、情報共有について

### 5 検証方法

- 訓練評価班の評価
- 訓練参加者の評価
- コントローラー部長の評価・検証  
※総務部危機管理参与
- 北海道防災訓練支援班の評価・検証  
※北海道危機対策課危機対策専門官

課題の抽出



検討・改善点

### 6 検証の視点

#### (1) 訓練評価班の評価

本訓練では、対策部ごとに評価員を配置し、「被害状況の把握・整理方法」、「災害対策活動の決定方法」、「災害対策部（班）の連携、情報共有」について、それぞれ対策部ごとに評価項目を設定し、その状況を把握し、評価を行った。

#### 【評価・検証項目】

- a) 平素の準備
- b) 訓練準備
- c) 災害情報収集・情報伝達
- d) 被害調査
- e) 災害対策活動など

#### (2) 訓練参加者の評価

訓練参加者に対し、訓練の成果、課題等を整理するため、訓練実施後において、設問形式による評価を行った。

#### 【評価・検証項目】

- a) 各対策部マニュアルについて
- b) ロールプレイング方式について
- c) 訓練全般について
- d) スタッフルームについて

(3) コントローラー部長の評価・検証

本訓練の実施にあたり、コントローラー部長として訓練統括を担当した総務部危機管理参与による評価を行い、今課題の抽出を行った。

【評価・検証項目】

- a) 訓練全般について
- b) 情報伝達について
- c) その他

(4) 北海道防災訓練支援班による評価・検証

本訓練の実施にあたり、訓練企画、訓練準備、状況付与など多大な協力・支援をいただいた北海道防災訓練支援班（危機対策課危機対策専門官）による外部評価を行い、課題の抽出を行った。

【評価・検証項目】

- a) 訓練目的は明確であったか。
- b) 具体的に何を訓練したいのか明確であったか。
- c) 防災担当部署以外に職員が参画していたか。
- d) 支援班と円滑に調整できたか。
- e) 訓練場所の設定は適切であったか。
- f) 実地的な訓練に留意していたか。
- g) 訓練前の職員に対する説明（教育）がされていたか。

7 評価・改善点

(1) 訓練評価班による評価・検証

対策部	評価・改善点								
	訓練態度	災害情報 収集・伝達	情報履歴 の作成	配備体制 の指示	応援体制 の検討	避難対策 の調整	避難対策 (道へ報告)	食料供給 の調整	自衛隊 派遣要請
総務対策部本部班	○	○	○	○	○	△	○	○	×
	<p>〈良かった点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にマニュアル等を確認するなど訓練の目的は訓練参加者に浸透していた。</li> </ul> <p>〈検討・改善点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報が錯綜する場面があり、伝達方法の工夫が必要。</li> <li>・処置済、未処理、他部からの報告、他部への報告などの情報の整理が必要。</li> <li>・自衛隊災害派遣部隊が到着後、石狩振興局への報告がされていなかった。</li> </ul>								

対策部	評価・改善点								
	平素の準備	訓練準備	訓練態度	災害情報 の報告	全職員 の把握	食料の輸 送・調達	その他資 の輸送・調達	本部班へ の支援	
総務対策部庶務班	○	○	○	△	○	○	○	○	
	<p>〈良かった点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の役割を認識しており、全体的に迅速な行動がとれている。</li> </ul> <p>〈検討・改善点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一部情報伝達漏れ（市民からの問い合わせ）があり、伝達事項の再確認（受け側、送る側）が必要。</li> </ul>								

対策部	評価・改善点									
	平素の準備	訓練準備	訓練態度	記者発表への協力	報道発表の方法	被災者への広報	関係機関への情報提供	庁内連絡	ボランティア対応	報道規制
	△	○	○	○	○	○	○	△	○	△
支援対策部	<p>〈良かった点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な状況付与に対し冷静な対応を行っていた。</li> <li>・報道機関への記者発表について、事前に発表項目を決めて確認していた。</li> </ul> <p>〈検討・改善点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回目記者発表までに講ずる対応が多くなり、独自の取材による資料収集まで手が回らない状況であったことから、事前に提供情報を整理する必要がある。</li> <li>・市民への周知について、総務対策部（防災無線・メール配信）との重複している事項が見られたため、マニュアル等の見直しが必要。</li> </ul>									

対策部	評価・改善点									
	平素の準備	訓練準備	訓練態度	市民からの通報報告	被害調査	被害報告	本部班への支援	避難者対応	情報共有	
	○	○	○	○	△	○	×	○	△	
経済対策部	<p>〈良かった点〉</p> <p>〈検討・改善点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各対策部の情報を共有・把握するために、机上のパソコンをもっと有効に活用すべきである。</li> <li>・図面が活用されていなかった。</li> <li>・個別情報は本部班へのみ報告していたが、対策部長から情報が届いていないとの指摘があったことから、各対策部→本部班→対策部長の連携について確認の必要がある。</li> </ul>									

対策部	評価・改善点							
	平素の準備	訓練準備	訓練態度	市民からの通報報告	被害調査	教護所の開設調整	避難者の健康被害	
	○	○	○	△	△	○	○	
保健福祉対策部	<p>〈良かった点〉</p> <p>〈検討・改善点〉</p>							

対策部	評価・改善点									
	平素の準備	訓練準備	訓練態度	市民からの通報報告	避難対策部への支援	防疫指導支援	避難所の開育動物対策	被害調査	道徳河川班への支援	
	○	○	△	○	△	×	×	×	×	
生活環境対策部	<p>〈良かった点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時系列による情報管理が図られている。</li> <li>・役割分担が明確であった。</li> </ul> <p>〈検討・改善点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机上の書類整理が必要。（書類を探す場面が多くあった。）</li> </ul>									

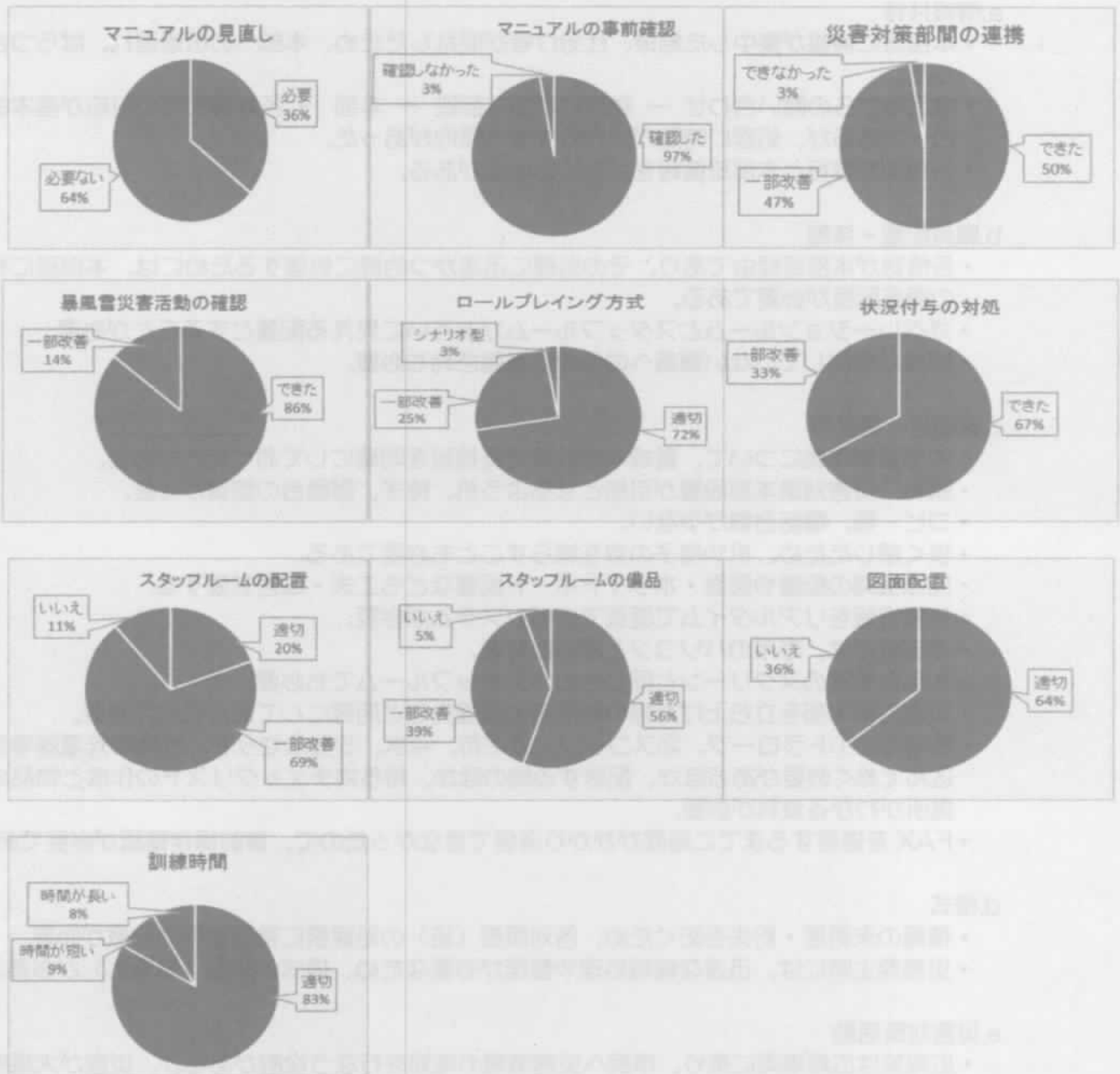
対策部	評価・改善点							
	平常の準備	訓練準備	訓練態度	市民からの通報報告	被害調査	応急給水の準備	応急給水対策の情報提供	車両事故対応
水道対策部	○	○	○	○	△	○	○	○
	<p>〈良かった点〉</p> <p>〈検討・改善点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業務処置票と口頭受理票の使用区分があいまいであったため改善が必要。</li> <li>・情報共有ができていない。(訓練全般)</li> <li>・パソコンによる情報伝達できていない。(訓練全般)</li> </ul>							

対策部	評価・改善点							
	平常の準備	訓練準備	訓練態度	市民からの通報報告	国道吹き溜まりの対応	倒壊恐れ住宅対応	倒木対応	車両スタック対応
建設対策部	○	○	○	△	△	○	○	○
	<p>〈良かった点〉</p> <p>〈検討・改善点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・状況付与された災害状況と想定に違いがあり混乱していた。</li> <li>※状況付与された以上の災害状況を創作していたため。</li> </ul>							

対策部	評価・改善点								
	平常の準備	訓練準備	訓練態度	市民からの通報報告	避難所開設の意見	避難所の開設準備	避難所マニュアルの有無	避難所の運営検討	被害調査
避難教育対策部	○	○	○	△	△	○	○	△	○
	<p>〈良かった点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・副部長が中心となって、災害対策の検討を行っていた。</li> </ul> <p>〈改検討・改善点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練当初において、訓練参加職員に全体の業務フローが理解されていなかった。</li> <li>・複合機の台数が少ない。(訓練全般)</li> <li>・作成した資料にはホッチキス留めが必要。(訓練全般)</li> </ul>								

対策部	評価・改善点								
	平常の準備	訓練準備	訓練態度	災害情報の報告	広域支援要請	救急車両の派遣	応援要請先へ状況通報	他対策部との調整	本部班への状況報告
消防部隊本部	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	<p>〈良かった点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時系列に要点を絞ってメモをしておき情報処理が明確であった。</li> <li>・5W1Hをもらさず聞き取りし、適切に対応していた。</li> <li>・今後予想される状況を検討し、応援要請に該当するか否か事前に考えていた。</li> </ul> <p>〈検討・改善点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本部からの指示事項が、一部バラバラなところがあったので改善が必要である。(訓練全般)</li> <li>・メインの情報ボードが見えにくかったので配置の工夫が必要。(訓練全般)</li> <li>・総務部対策部本部班の情報を各対策部が共有できる工夫が必要。(訓練全般)</li> <li>・市内全域の通行止め、負傷者情報を記入できるよう図面の縮尺(1/25,000程度)の図面が必要。(訓練全般)</li> <li>・業務処理票と口頭受理票の使用方法を明確にする必要がある。(訓練全般)</li> </ul>								

## (2) 訓練参加者の評価・検証



### ① 評価事項（良かった点）

#### a. 災害対策本部会議の配置（レイアウト）

- ・ 図面中心の配置としたことにより、各対策部活動や関係機関の状況が瞬時に把握することにつながった。
- ・ 各対策部が一室に会したことにより、一体的に災害対策本部活動が実施できる訓練が実施できた。

#### b. マニュアル等の確認

- ・ 各対策部が事前にマニュアルや手順を確認して訓練に臨んでいた。

#### c. 訓練方式（ロールプレイング方式）

- ・ 実践に即したものでかなり緊張感があり、シナリオ型訓練では得られない訓練であった。



## ②検討・改善点

### a.情報共有

- 本部班に情報が集中した結果、仕分け等が混乱したため、本部への伝達遅れ、ばらつきが生じた。
- 市民等からの問い合わせ → 総務対策部本部班 → 本部 → 各対策部での対応が基本的なフローであるが、処理に時間がかかりすぎる傾向があった。
- 各対策部情報と本部班情報を共有する必要がある。

### b.職員配置・体制

- 各情報が本部班経由であり、その処理に迅速かつ的確に処理するためには、本部班に相当数の職員配置が必要である。
- オペレーションルームとスタッフルームがお互いに見える配置とすることが必要。
- 訓練に参加していない職員への伝達や意識啓発も必要。

### c.資機材・備品等

- 本部設営体制について、警戒本部段階で支援班を明確にしておくことが必要。
- 瞬時に災害対策本部設置が可能となるよう机、椅子、図面台の整備が必要。
- コピー機、電話台数が少ない。
- 狭く感じたため、机や椅子の数を減らすことも必要である。
- 関係機関の配置や図面・ホワイトボード配置なども工夫・改善を要する。
- 気象情報をリアルタイムで確認できるシステムが必要。
- 本部員には、専用のパソコンと電話が必要。
- 本部会議室のスクリーンと同じものがスタッフルームでも必要。
- 災害対策本部を立ち上げた際の物品等の調達先など明確にしておくことが必要。
- 車両には①トラロープ、②スコップ、③毛布、④水、⑤救急セット、⑥携帯充電器等を積み込んでおく必要があるほか、配送する物のほか、持ち物チェックリストの作成と物品の保管場所がわかる資料が必要。
- FAX を送信するまでに時間がかかり送信できなかったため、事前操作確認が必要である。

### d.様式

- 情報の未処理・紛失を防ぐため、各対策部（班）の処理票に整理番号の記載が必要。
- 災害発生時には、迅速な情報処理や整理が必要なため、様式の修整（簡素化）が必要。

### e.災害対策活動

- 広報班は広報車両に乗り、市民へ災害情報の周知を行なう役割があるが、災害が大規模だった場合に、広報班も身動きが取れず、市民へ情報の周知を行なえない可能性がある。そういった場合の対応も考えなければならない。

### f.訓練内容

- 訓練方式について、職員への詳細な説明が必要。
- 災害発生時から災害沈静化までの訓練も必要。
- 状況付与について、通行止や渋滞情報など、各対策部が活動する上で基礎的な条件が付与されていないことから各対策部における行動に迷いが生じていたため、最低限の状況を付与する必要がある。

### g.その他

- 5 年目職員研修で、DIG（Disaster Imagination Game）や現地対応訓練を実施する必要がある。



### (3) コントローラー部長の評価・検証

#### a. 訓練全般に関して

- ・ 訓練間、何の根拠もなく被害状況を自作し、被害によって生じた影響や処置した結果までも自作して、処置票に記入して提出していた対策部が散見されたのは改善を要する。  
→ 職員に対しては、訓練において被害状況等の自作は不要であることを周知する。

#### 【被害状況等自作の一例（処置票から）】

〇〇施設に通じる道路が雪のため通行不能となっている。このため〇〇施設で行われる業務は中止となった。このことを市のホームページで市民に周知した。

- ・ 関係機関等への電話・FAXによる確認行為や対策部間の調整を行っていないにもかかわらず、自己判断により、確認結果等を自作して処置票に記入し、総務対策部本部班に報告していた対策部が散見されたのは改善を要する。  
→ 職員に対しては、訓練においても確認・調整結果により行うよう周知する。

#### 【自己判断による避難者確認結果自作の一例（処置票から）】

収容避難所の避難者の状況

〇〇小学校：16人

△△小学校：2人

- ・ 訓練の終始を通じ、処置票と電話口頭受理事件簿の区別がなされず、区分が曖昧なまま使用していた対策部が見られたのは改善を要する。  
→ 初めて処置票を使用する訓練であり、扱いに不慣れであったことや説明会で徹底されなかったことが原因であり、今後の訓練において処置票の位置づけを周知・徹底する。

#### b. 情報伝達に関して

- ・ 総務対策部本部班に各対策部が入手した情報が報告されていなく、また、報告されていても迅速に報告されない場面が見受けられたので改善を要する。  
→ 地域防災計画資料編（資料32）「災害対策本部内の情報連絡系統図（被害状況報告）」に総務対策部本部班に対する報告が記述されていないことが原因であることから、情報連絡系統図に報告時期も含めて明記する必要がある。

#### c. 災害対策本部長に対する報告に関して

- ・ 全般に災害対策本部長に情報が伝わるのがやや遅いように感じた。訓練において、情報伝達の遅れから災害対策本部長の判断が遅れることはなかったが、今後の課題として検討が必要。

#### d. その他

- ・ 災害対策本部長用の机に筆記具が用意されていなかったことは改善を要する。メモをとったり、思考をまとめる際に筆記具は必要不可欠であるので、今後は災害対策本部長と副本部長の机には、ペン皿とメモ用紙を置くことが必要。

### (4) 北海道防災訓練支援班の評価・検証

#### a. 総合評価

- ・ 企画・訓練準備等を含めた総合評価は、“優良”である。
- ・ 暴風雪災害を想定した訓練としては、よく準備され、すばらしい訓練であったと拝察した。
- ・ 防災部署においては、市民の安全・安心のため、引き続き同様な訓練の継続をお願いする。

#### b. 検討・改善事項

- ・ 避難勧告等の発令基準等について考えておく必要があるのではないか。
- ・ 現場確認のため現地に派遣する職員の服装・装備等について、検討が必要ではないか。
- ・ 「個人業務カード」を平素から携帯するよう検討が必要ではないか。

## 6 検証を踏まえた今後の災害対策への反映事項

	課題・良かった点	今後の災害対策の展開方法	平成 28 年度重点事項
事前確認	○各対策部が事前にマニュアル等を確認して訓練に臨んでいた。	○訓練実施前の確認を徹底するとともに、平常時においてもマニュアル等の確認を行うよう職員周知を行う。	
訓練方式	○実践に即した訓練方式であり、シナリオ型の訓練では得られない臨場感をもった訓練であった。 ○訓練実施にあたっては職員への詳細な説明が必要。	○今後の訓練においてもロールプレイング方式とし、訓練方式について職員説明や打合わせを行うことにより実践的な訓練とする。	○ロールプレイング方式による訓練とし、職員説明会を開催し周知する。
訓練企画支援	○北海道防災訓練支援班の協力・支援により、企画統制班や自衛隊との調整を担当していただき短い準備期間でスムーズな進行ができた。	○今後の訓練に実施にあたっては、北海道に相談した上で、隊反会・会経支部連合会にも意見を聞きながら訓練企画・実施を検討する。	
訓練内容	○被害状況や関係機関・対策部間の調整を行っていないにも関わらず、自作して処置票に記入し、総務対策本部本部班に報告していた対策部が数見された。	○職員説明により、訓練時には被害状況等の自作は不要であることを周知する。	○職員説明会で様式や訓練内容の徹底を行う。
想定災害	○市でははじめでの暴風雪災害を想定した災害対策本部訓練を実施した。	○今後も「暴風雨災害」、「火山災害」など災害種別をかえて訓練を実施することにより職員の災害対策能力の向上を図る。	○「浸水害（洪水）」対策訓練と併せて職員非常招集訓練を実施する。
訓練時間	○本来業務に考慮し午前中の訓練時間とした。	○実践的な防災訓練について、今後も職員の本来業務に考慮した訓練時間とする。※訓練参加職員の約 8 割が「適切」と回答。	
配置（レイアウト） ※災害対策本部会議	○図面を中心とした配置としたことにより、災害対策本部活動や関係機関の活動状況が瞬時に把握できる配置とした。	○今後の訓練や災害対策本部においても図面を中心に設置した配置とする。 ※訓練参加職員の約 6 割が「適切」と回答。	
配置（レイアウト） ※スタッフルーム	○一体的な災害対策活動が可能な配置とした。 ○図面やメインの情報ボードが見えにくい。	○今後の訓練や災害対策本部においても、各対策部が一堂に会する配置とし、図面やメインの情報ボードの配置については、訓練参加職員数を検討することにより調整する。	○参加職員数を調整し、見やすい場所に図面やメインの情報ボードを配置する。
災害活動の意思決定	○災害対策本部長への情報伝達が遅い。	○状況報告について、軽重、緊急をつけ、優先順位を明確にする。	○情報の収集・伝達・共有のフローを作成し、職員周知を行う。
図面の活用	○図面が活用されていなかった。また、被害状況の図面への記載タイミンが悪い。	○図面の記載方法やタイミンのフローを作成し、職員説明会で周知を図る。	○図面の記載方法やタイミンのフローを作成し、職員周知を行う。
職員配置・体制	○各情報が総務対策本部本部班経由であるため、職員数が不足。	○要員の確保や応援支援員について、必要量を精算し調整する。	

	課題・良かった点	今後の災害対策の展開方法	平成 28 年度重点事項
資機材・備品	<ul style="list-style-type: none"> <li>○瞬時に災害対策本部設置が可能となるよう机、椅子、図面台の整備が必要。</li> <li>○コピー機（複合機）、電話機の台数が少ない。</li> <li>○気象情報をリアルタイムに確認できるシステム導入が必要。</li> <li>○災害対策本部員に専用パソコンと電話が必要。</li> <li>○スタッフルームにもスクリーンが必要。</li> <li>○車両には①トラロープ、②スコップ、③毛布、④水、⑤救急セット、⑥携帯充電器等を積み込んでおく必要がある。</li> <li>○現場確認に派遣する職員の服装・装備等の検討が必要。</li> <li>○災害対策本部長の机に筆記用具やメモ帳が必要。</li> <li>○通行止め、負傷者情報を記入できるような図面（1/25,000程度）が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資機材や備品等について年次計画を作成し整備を図る。</li> <li>○災害対策本部長の机に筆記用具やメモ帳を配備する。</li> <li>○市内全域の通行止め、負傷者情報を記入できるような図面の縮尺（1/25,000程度）の図面が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害対策本部長の机に筆記用具やメモ帳を配備する。</li> <li>○UTMグリット輸入りの図面を整備する。</li> </ul>
情報収集・伝達・共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総務対策本部各班に情報が集中したため仕分けに混乱が生じ、本部への伝達の遅れ、バラツキが生じた。</li> <li>○災害対策本部からの指示事項が一部漏れた。</li> <li>○各対策部の情報と総務対策本部各班の情報共有が不十分。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域防災計画資料編（資料 32）「災害対策本部内の情報連絡系統図（被害状況報告）」に総務対策本部各班に対する報告を記載する。</li> <li>○情報の取り扱い方法の標準化、地図の利用方法について検討が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域防災計画を修正し、「災害対策本部内の情報連絡系統図（被害状況報告）」に総務対策本部各班に対する報告を記載する。</li> <li>○情報の収集・伝達・共有のフローを作成し、職員説明を行う。</li> <li>○地域防災計画や対策部マニュアルの徹底について周知する。</li> </ul>
協定先への報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道や自衛隊に要請した事項について、実施確認が行われていなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域防災計画や対策部マニュアルの徹底について周知する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域防災計画や対策部マニュアルの徹底について周知する。</li> </ul>
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害が大規模の場合、広報班も動きが取れず、市民周知活動ができにくい可能性がある。</li> <li>○報道機関への記者発表項目について、事前に発表項目を調整し確認していた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広報支援員について必要量を精算し調整する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域防災計画や対策部マニュアルの徹底について周知する。</li> </ul>
様式	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務処理票と口頭受理の使用区分があまりあてあまいであった。</li> <li>○情報の未処理・紛失を防ぐため、各対策部（班）の業務処理票に整理番号の記載が必要。</li> <li>○災害発生時の迅速な情報整理のため、様式の簡素化が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務処理票と口頭受理の使用区分について職員説明会で徹底する。</li> <li>○様式の簡素化に向けて検証する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○業務処理票と口頭受理の使用区分について職員説明会で徹底する。</li> <li>○業務処理票に整理番号を付記するよう、職員周知する。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○訓練に参加していない職員への周知や意識啓発も必要。</li> <li>○5 年目研修等のカリキュラムに、DIGや現地対応訓練等も組み込むことも必要。</li> <li>○「個人業務カード」が携帯できていなかった。</li> <li>○避難勧告等の発令基準等についての検討。</li> <li>○発災当初は、人命救助を最優先すること、事前に災害の規模を想定した災害対策を確認する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員研修について検討を行う。</li> <li>○「個人業務カード」の携帯について、職員周知を図る。</li> <li>○避難勧告等の判断・伝達マニュアルを作成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「個人業務カード」の携帯について、班長会議で周知する。</li> <li>○避難勧告等の判断・伝達マニュアルを作成する。</li> </ul>



## 平成28年度 災害対策本部訓練の実施について

**1** 目的

ロールプレイング方式による実践的な訓練を通じて、災害対策本部員及び各災害対策部（班）の災害対処能力の向上を図る。

**2** 重点項目

- (1) 浸水害における災害対策本部の運営
  - (ア) 被害状況の把握・整理及び対策案の決定
  - (イ) 各対策における各対策部（班）間の連携
- (2) 防災関係機関との連絡調整

**3** 訓練日時及び場所

- (1) 日 時 平成28年8月26日（金） 9時00分～12時15分
- (2) 場 所 第1・第2・第3委員会室、301・302会議室
- (3) 内 容 浸水害対策訓練

**4** 訓練実施主体 恵庭市災害対策本部員及び各災害対策部（班）**5** 訓練参加関係機関 北海道、陸上自衛隊第72戦車連隊（隊区担任部隊）、  
北部方面施設隊、北海道開発局、千歳警察署  
※訓練参加機関については調整中**6** 訓練方法 ロールプレイング方式



人事評価を反映した管理職の勤勉手当について

## 1. 平成27年度人事評価の管理職業績評価の集計

- ① 評価結果は平成27年度の業績評価による。
- ② 級の区分は4月1日発令後の新しい級で5級以上の管理職を対象として集計した。
- ③ 4月1日現在の退職者、4級以下への降任者（再任用を含む）を除く。

表1 平成27年度 評価結果一覧表

再任用以外の職員	級	役職	平成27年度 業績評価結果					計
			s	a	b	c	d	
	7級	部長職	-	2	5	3	-	10
	6級	次長職	-	4	11	5	-	20
	5級	課長職	6	4	41	11	-	62
	計		6	10	57	19	-	92
	%		7%	11%	62%	21%	-	100%
再任用職員	級	役職	平成27年度 業績評価結果					計
			s	a	b	c	d	
	再6級	次長職	-	-	2	-	-	2
	再5級	課長職	-	1	6	3	-	10
	計		0	1	8	3	-	12
	%		0%	8%	67%	25%	-	100%

## 2. 平成28年度 管理職勤勉手当への反映

- ① 6/15、12/5支給の2回の勤勉手当に適用する。（給与条例第17条の4第1項）
- ② 基礎額算定の基準日は6月1日、12月1日。（給与条例第17条の4第1項）
- ③ 勤勉手当の総額は、再任用職員以外の職員は勤勉手当基礎額に100分の80を乗じて得た額の総額、再任用職員は勤勉手当基礎額に100分の37.5を乗じて得た額の総額（給与条例第17条の4第2項）
- ④ 加算総額は減額総額の範囲内で市長が定める（勤勉手当の成績判定取扱要綱第5条）
- ⑤ 勤勉手当基礎額は、給料（基本給＋役職加算）及び扶養手当の月額合計額（給与条例第17条の4第3項）
- ⑥ 給与の種目別の確定金額は、1円未満の端数を切り捨てる（給与の支給規則第18条の2：端数計算）

表2 再任用以外の職員：全ての職種を含む

(単位：円)

項目	業績評価による増減額					
	評価区分	s	a	b	c	d
成績率		88/100以内	84/100以内	80/100	76/100	72/100
増減 %		+10%以内	+5%以内	-	-5%	-10%
増減 月数		0.08以内	0.04以内	-	-0.04	-0.08
調整後	増減 %	9.009%	4.504%	-	-5%	-10%
	増減 月数	0.0720	0.0360	-	-0.04	-0.08
	増減額 計	188,897	169,005	-	-358,246	-
		357,902		-	-358,246	
人数		6人	10人	57人	19人	-
平均増減額		31,483	16,901	-	-18,855	-

表3 再任用職員：全ての職種を含む

(単位：円)

項目	業績評価による増減額					
	評価区分	s	a	b	c	d
成績率		39.38/100以内	39.38/100以内	37.5/100	35.63/100	35.63/100
増減 %		+5%以内		-	-5%	
増減 月数		0.01875	0.01875	-	-0.01875	-0.01875
増減額 区分計		-	4,543	-	-14,063	-
増減額 合計		4,543		-	-14,765	
人数		-	1人	8人	3人	-
平均増減額		-	4,543	-	-4,688	-





総務文教常任委員会報告資料  
平成 28 年 6 月 15 日 (水)

厚生消防常任委員会報告資料  
平成 28 年 6 月 16 日 (木)

経済建設常任委員会報告資料  
平成 28 年 6 月 17 日 (金)

# 事故等発生（処理）報告書

（平成 28 年 3 月～平成 28 年 5 月各部からの報告分）

平成 28 年 5 月 20 日時点

恵庭市職員適正事務推進委員会

＜事故等発生(処理)状況報告について＞

平成28年5月20日現在

NO	発生(発覚)年月日 又は報告年月日	所管部・室・局	要 旨	備考
1	平成28年3月14日	子ども未来部	<p>水道料金の未助成(ひとり親家庭)</p> <p>【状況/原因】平成27年6月に助成決定した水道料金等助成対象者が平成28年3月14日に来庁され、助成開始以降とそれ以前の水道料金がかわらないように助成になっっていないのではという相談内容であったため、状況を確認したところ、平成27年6月新規助成4世帯のうち2世帯が子ども家庭課から水道部へ依頼がされておらず、現時点で助成対象となっていないことが判明した。このことは、依頼書作成時に申請者の確認を十分に行わなかったことにより未助成が生じたものである。【参考】1件目未助成額(H27.6月～H28.1月)→(500円+330円)×8ヶ月=6,640円、2件目未助成額(H27.6月～H28.2月)→(500円+330円)×9ヶ月=7,470円</p> <p>【市民への影響】水道料金の助成が未助成となっていた。</p> <p>【対応と改善】未助成だった2件の方については、市が内容を説明し、謝罪した。また、助成されていなかった分については、ご本人に全額返済することとした。毎月、新規申請、喪失、異動の処理を行うこととなるが、申請書と依頼書の内容を再確認し、決裁時の申請書の添付を徹底するとともに、依頼者名簿を作成し添付することとした。</p>	
2	平成28年3月25日	建設部	<p>公用車の速度超過</p> <p>【状況/原因】南島松の雪堆積場を借りている関係で、伊達市にある本所に状況報告に伺い、その帰路において、道道779号を室蘭方向に走行中、伊達市北黄金町付近において、制限速度50km.のところを68km.で走行(18km.の速度超過)によって、速度測定中のパトカーに違反命令を受けた。速度超過の原因は、当該路線の制限速度を見誤ったことによるものである。</p> <p>【市民への影響】特になし</p> <p>【対応と改善】今後は、より一層交通安全に注意を払うことに加え、再発防止として、各種規制標識の確認を怠ることの無いよう心がけるとともに、課内ミーティング等で注意喚起を行うこととした。</p>	
3	平成28年4月4日	教育部	<p>E-NET、LAN不通事故</p> <p>【状況/原因】恵み野小学校のLANケーブルが絡み合っていたので、回復しようとしたときにLANケーブルが抜け、図書館ネットワークが不通となった。</p> <p>【市民への影響】春休み中のため、特に影響は無かった。</p> <p>【対応と改善】スイッチングハブへのポートを確認して装着した。今後はE-NETルータ周辺の配線の整理及び収納盤の整理を徹底することとした。</p>	

＜事故等発生(処理)状況報告について＞

平成28年5月20日現在

NO	発生(発覚)年月日 又は報告年月日	所管部・室・局	要 旨	備考
4	平成28年4月7日	教育部	<p><b>E-NET用USBの紛失</b></p> <p>【状況/原因】 恵み野小学校の学校事務職員の引継時にE-NET用USB(データは何も入っていない。)が無くなっていることが判明した。調査してみると平成25年12月にE-NET用USBを教育総務課から各学校へ配布したが、その際に行き違いがあり、恵み野小学校を紛失したということである。当時の学校事務職員に対する確認では、一旦受け取ったが、使用する見込みが無いので、返却したとの証言となっている。しかし、教育総務課としては、受け取った形跡が無いということである。受取書を作成するなどして、受取の確認がしっかりと行われていなかったことが原因である。</p> <p>【市民への影響】 特になし</p> <p>【対応と改善】 今後は、紛失の処理を行うとともに、台替機器を購入し、新たな使用設定を依頼することとした。</p>	
5	平成28年4月22日	保健福祉部	<p><b>総合体育館(恵庭市体育協会が指定管理者)格技場利用者の事故</b></p> <p>【状況/原因】 4月22日18時35分～45分頃、中学1年生の女子生徒が準備運動(寝技のトレーニング「えび」、足の方向に進むパターン)中に左足小指が量の四隅の間に入り怪我をした。指導者に確認したところ、腫れているため、「捻挫」と判断し、テーピング処置を施したが、後日、病院に行き、骨折と判明した。事故発生当日は、柔道の練習でよくある「つき指」もしくは「捻挫」であると考え、窓口への報告は行わなかった。4月27日に指導者から体育協会に骨折の報告があり、事故が判明した。その後、体育協会で詳しく聞き取りを行い確認した。今回の女子中学生の怪我は、聞き取りの結果、「量の老朽化」が主たる原因である可能性がある。</p> <p>【市民への影響】 女子中学生が左足の小指を骨折した。 ア 異動日、補正対応はせず。</p> <p>【対応と改善】 負傷した女子中学生に対しては、指定管理者が保険での対応を行うものとし、量の更新は、来年度の要求項目とする。また、指定管理者に対しては、専門業者へ量の状態を確認させ、量がずれないようにするための最善策を提出してもらい、早急を実施することとした。</p>	
6	平成28年5月16日	教育部	<p><b>アレルギー対応にかかる加工品(ドレッシング)の誤提供について</b></p> <p>【状況/原因】 給食センターで登録している加工品の成分表の誤記入により、卵アレルギー児童へ卵黄の成分の入ったドレッシングを提供した。(卵黄の成分の入っているドレッシングを入っていないドレッシングと認識し提供した。)6校(恵庭小学校、島松小学校、和光小学校、松恵小学校、若草小学校、恵み野旭小学校)10名が対象であり、うち4名が喫食したことを確認した。給食センターより各保護者へ報告と謝罪をし、再発防止に努めることで理解を得た。1名は学校に置いてある薬を服用し、1名は保護者が急のため病院で受診した結果、のどの炎症と診断された。その他2名については無事とのことである。このことは、給食センターで登録している加工品の成分表の入力に誤りがあり、成分表では卵黄の成分が入っていない成分であるため卵アレルギー児童にも対応できるものと判断して提供したが、指定した加工品の中には卵黄の成分が入った商品であるため、卵アレルギー児童へ誤提供したものである。</p> <p>【市民への影響】 給食時に卵アレルギー児童に対し、卵黄の成分が入った加工品(ドレッシング)を誤って提供し、それを喫食した4名の児童のうち1名がのどの炎症と診断された。</p> <p>【対応と改善】 今後は、給食センターの加工品の成分表の内容と納品される加工品の成分表を毎日チェックするなどチェック体制を強化し再発防止に努めることとした。</p>	

＜事故等発生(処理)状況報告について＞

平成28年5月20日現在

NO	発生(発覚)年月日 又は報告年月日	所管部・室・局	要 旨	備考
7	平成28年5月16日 建設部		<p>駐車場における自動車ドアの接触事故</p> <p>【状況/原因】 営繕作業終了後、庁舎内で業務終了後の打合せを行うため、庁舎前駐車場に駐車し、ドアを開けたところ、強風にあおられドアが全開し、隣に停車していた車両へ接触し、相手方車両のドアを損傷させた。相手方に怪我は無かった。このことは、運転していた職員の状況確認が不十分であったことによる。</p> <p>【市民への影響】 車両のドアを損傷した。</p> <p>【対応と改善】 事故発生後直ちに運転職員より報告が入り、相手方に怪我の無いことと車両の損傷状態を確認した。また、交番に連絡し、状況を確認してもらった。今回の事故は、突風によるものであるため、降車時にドアがあおられないように注意を払っていれば防げた事故である。運転していた職員に対し、運転時のみならず乗車、降車時も安全確認の徹底を肝に銘じるよう指導した。</p>	

＜事故等発生(処理)状況報告について＞